

2020年3月期通期  
決算のご報告  
2019.4.1~2020.3.31

**ID** Holdings

# **ID** LETTER



トップメッセージ



# 過去最高益を更新。

## さらなる変革を遂げ、次の時代へと向かいます。

### 2020年3月期の業績および2021年3月期の見通し

2020年3月期の売上高は、一部大型プロジェクトの終了により263億77百万円と前期比で減収となりましたが、DX（デジタルトランスフォーメーション）関連\*の高付加価値分野への技術者のシフトなどの施策が功を奏し、収益面では営業利益は7期連続、経常利益は4期連続、さらに当期純利益は2期連続での増益となり、いずれも過去最高益を更新しました。

新型コロナウイルス感染症の収束状況いかに、今後の経済見通しは変わってきますが、当社では顧客企業のIT投資再開が2021年3月期第2四半期以降までずれ込むとの見通しに立ち、2021年3月期の業績予想は売上高245億円、営業利益20億円としました。今後、社員の雇用を守ると同時に、経費削減に向けた経営の合理化施策を推進します。

### Waku-Wakuする未来に向けてITができること

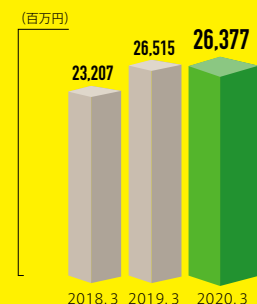
新型コロナウイルスの流行が、世界に大きな打撃をもたらすなか、日本でもITツールを利用し、感染リスクを避けつつ経済活動を維持する取り組みが行われています。大きな危機は新しい需要を生み、技術の変革を促進します。当社グループは情報サービス企業としてITインフラを支える重要な役割を担っています。

これまでにない厳しい経営環境が想定されますが、私たちはその先にあるWaku-Wakuする未来を見据え、ITビジネスで貢献していきます。

\*サイバーセキュリティ、クラウド、RPA、AI、IoTなどの先端技術を活用した高付加価値業務、ならびにITSM手法等を活用したコンサルティング業務を指します。

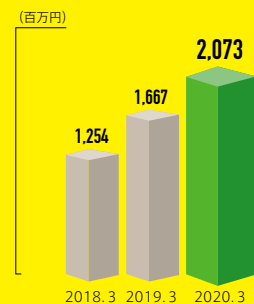
売上高

263億77百万円



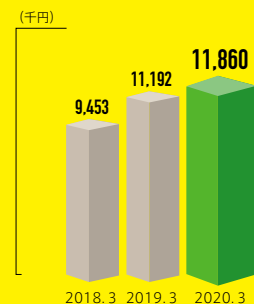
営業利益

20億73百万円



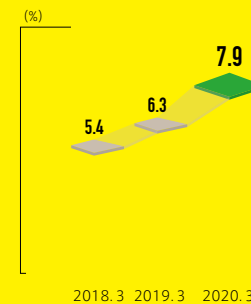
従業員1人当たり売上高

1,186万0千円



売上高営業利益率

7.9%



# Waku-Waku

する未来の創造を  
目指します。

代表取締役社長 船越真樹

新型コロナウイルスの被害について、お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスに罹患された皆さまおよび関係者の皆さま、影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、医療に携わる皆さまや感染防止のため社会へ貢献されている皆さまへ深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、当社グループはお客さま、社員とその家族をはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまの安全・健康を第一に考え、感染拡大防止に努めてまいりました。

具体的な取り組みとして、1月末より中国の武漢市にある子会社において、社員の在宅勤務などの対応を開始しました。さらに2月からは対象範囲を拡大し、国内外の本社ならびに支店勤務社員について原則在宅勤務、およびリモートでの会議開催への切り替えを行いました。

当社グループは、こうした状況下におけるITインフラを支える重要な役割を担っていることを認識し、安定したサービスの提供に向けて尽力いたします。

特集

## グループ組織再編 第2弾。 ナレッジを集約し、次なる成長ステージへ。



### グループ組織再編の目的

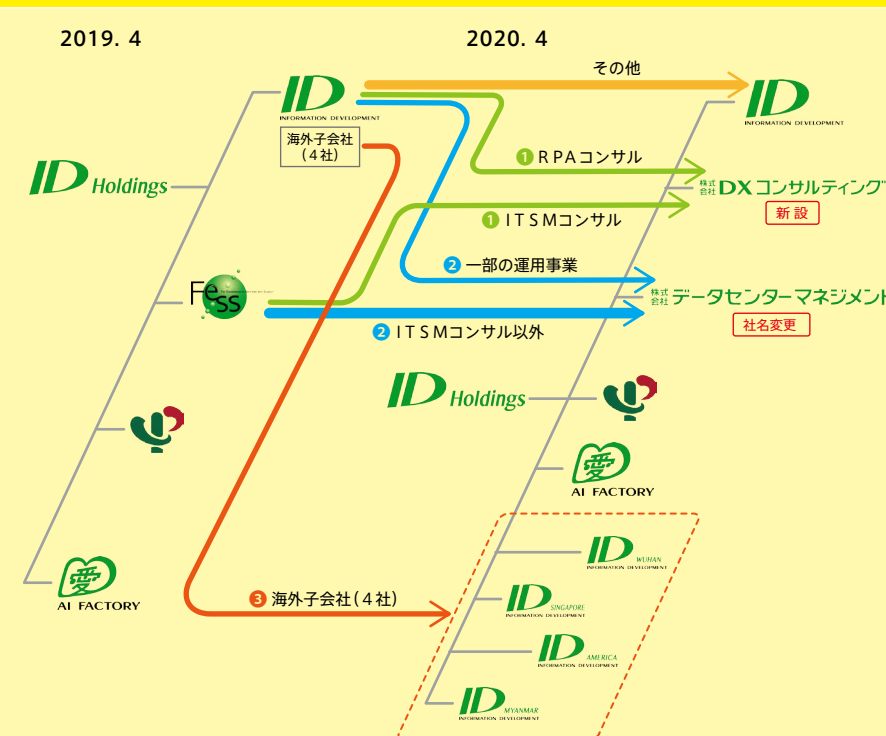
ITサービス業界を取り巻く環境は、お客さまのニーズの高度化にぐわえ、技術革新により急速に変化しています。当社グループはこのような変化に対応すべく、昨年の持株会社制への移行に引き続き、今年の4月にグループ組織

再編を実施しました。事業内容の特性に応じた本再編を通じて顧客満足度を高め、さらなる競争力の強化と企業価値の向上を目指します。

### IDグループ組織の変遷図

#### POINT 3つの施策

- ① 施策：**IDおよびフェスの運用コンサルティングに強みを持つ部門を集約し、DXコンサルティングを設立。  
**狙い：**高まるDXニーズに対応!
- ② 施策：**IDのシステム運営管理部門をフェスに承継し、IDデータセンターマネジメントに商号変更。  
**狙い：**システム運営管理サービス力の強化!
- ③ 施策：**海外孫会社4社をIDホールディングス直下に。  
**狙い：**グループ全体視点で経営効率を高める!





今回のグループ再編の  
中心となる2社のトップが、  
これからの意気込みを  
語ります。



## 特集

新体制で新しい可能性を！  
ナレッジの結集&シナジー発揮でさらなる飛躍へ

新体制でIDグループが目指すものとは？  
2社のトップに聞きました。



システム運用のプロ集団として、付加価値の高い  
サービス提供を目指します。



株式会社IDデータセンター  
マネジメント  
代表取締役社長  
七尾 静也

(株)IDデータセンターマネジメントは旧フェスのITSMを除く運用部門と、IDの運用部門の一部を再編し社員600名、ビジネスパートナーを含め約1,000人規模の、運用を中心とする会社としてスタートしました。AIやRPAなどの台頭で、いずれ人的ビジネスは効率化され、運用は次の段階に入ると考えています。また、今までの大手アウトソーサーは、基本的にハード、ソフト、運用要員をセットで提案し、データセンタービジネスを伸ばしてきましたが、近年はクラウド環境の普及により、運用要員のみでのアウトソース提案が可能となりました。まさに「Change or Die!」、ハイブリッドな運用ができる当社の強みを発揮します。

ますます高まるデジタルトランスフォーメーションの  
ニーズにこたえます。



株式会社DXコンサルティング  
代表取締役社長  
高瀬 祐志

デジタル技術の急速な進化にともない、経済や社会における影響はますます大きくなっています。ITサービス業界も革新的な技術の進化とその実用化が進み、新たな価値やビジネスの創出に対する、お客さまからのニーズも増加しています。当社は「Waku-Wakuする未来創り」というグループミッションのもと、各企業の「変革」活動に焦点を当て、ITシステム運用の側面から、業務の効率化と働き方改革の実現を支援していきます。



IDグループでは日々、  
さまざまな変化が  
起きています。  
2～5月の主な出来事  
をご紹介します。

小さな変化の積み重ね。  
目指す姿の実現に向け、日々前進しています。

## IDグループ トピックス



2月

- 17日 **IDHD** 日本国内における新型コロナウイルスの感染拡大に関する当社グループの追加対応について
- 18日 **IDHD** 日本証券アナリスト協会主催 個人投資家向け I Rセミナー（大阪開催）を実施
- 20日 **IDHD** 日本証券アナリスト協会主催 個人投資家向け I Rセミナー（東京開催）を実施
- 27日 **IDHD** 新型コロナウイルスの感染拡大に関する当社グループの追加対応について



個人投資家向け I Rセミナー

3月

- 2日 **IDHD ID** 「健康経営優良法人 2020（大規模法人部門）～ホワイト500～」に認定
- 10日 **ID フェス**※ 第7回 BAPT主催 サイバーセキュリティ対策 Webセミナーにて講演  
※現DCM
- 27日 **IDHD** 当社本社ビルにおける新型コロナウイルス感染者の発生について



4月

- 7日 **DX** オンラインでの I T I L® 認定研修の提供を開始
- 24日 **IDHD** I D武漢における本社での出勤勤務再開について



サイバーセキュリティ対策 Webセミナー

5月

- 1日 **IDHD** 2020年3月期通期決算発表の延期に関するお知らせ（5月15日に発表）
- 14日 **IDHD** 当社グループが支援する芸術家の演奏動画公開について
- 15日 **IDHD ID** 代表取締役および役員の異動ならびに子会社の役員異動に関するお知らせ  
**IDHD** 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要
- 19日 **IDミャンマー** I Dミャンマー設立5周年



I Dミャンマー設立5周年を記念して

## 会社情報

(2020年3月31日現在)

商号 株式会社 I Dホールディングス  
I D Holdings Corporation ( I D H D )

本社所在地 〒102-0076  
東京都千代田区五番町12番地1 番町会館  
TEL.03-3262-5177(代表)  
FAX.03-3264-7145

創立 1969年10月20日

資本金 5億9,234万円

連結従業員数 2,224名

## 国内・海外ネットワーク

(2020年6月19日現在)

株式会社インフォメーション・ ディベロプメント( I D ) 資本金：4億円 I D H D出資比率：100.0%	艾迪系統開発(武漢)有限公司 ( I D 武漢 ) 資本金：110万米ドル I D H D出資比率：100.0%
株式会社 I Dデータセンター マネジメント( D C M ) 資本金：6,000万円 I D H D出資比率：100.0%	INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD. ( I Dシンガポール ) 資本金：573万シンガポールドル I D H D出資比率：100.0%
株式会社 D Xコンサルティング ( D X ) 資本金：5,000万円 I D H D出資比率：100.0%	INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC. ( I Dアメリカ ) 資本金：550万米ドル I D H D出資比率：100.0%
株式会社ブライド 資本金：4,000万円 I D H D出資比率：92.7%	IDM INFORMATION DEVELOPMENT MYANMAR CO., LTD. ( I Dミャンマー ) 資本金：127万米ドル I D H D出資比率：83.9% I Dシンガポール出資比率：16.1%
愛ファクトリー株式会社 〔特例子会社〕 資本金：5,000万円 I D H D出資比率：98.0% D C M出資比率：2.0%	

## 役員

(2020年6月19日現在)

代表取締役社長	船越 真樹	監査役	渡辺 尚生
代表取締役副社長	山川 利雄	監査役	酒井 康夫
取締役兼業務担当執行役員	山内 佳代	業務担当執行役員	七尾 静也
取締役	杉浦 章介	業務担当執行役員	土谷 明
取締役	林 慶治郎	業務担当執行役員	高橋 かおり
取締役	中村 あや	業務担当執行役員	坂本 康
常勤監査役	小池 昭彦	業務担当執行役員	木村 由美子
監査役	岡崎 正憲	業務担当執行役員	樊 娜

※取締役 杉浦 章介、林 慶治郎、中村 あやは、社外取締役です。  
※監査役 岡崎 正憲、渡辺 尚生、酒井 康夫は、社外監査役です。

## 株式情報

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 36,000,000株  
発行済株式総数 ..... 12,044,302株  
株主総数 ..... 4,365名

## 大株主の状況

(2020年3月31日現在)

株主名	持株比率(%)
株式会社エイ・ケイ	9.13
株式会社みずほトラストシステムズ	7.20
I D従業員持株会	6.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5.43
みずほ信託銀行株式会社	3.69
有限会社福田商事	2.62
T D Cソフト株式会社	2.48
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	2.46
船越 朱美	1.73

※持株比率は、自己株式(613千株)を発行済株式総数から控除して算出しております。

## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
公告の方法	当社ウェブサイト上の電子公告により行います。 <a href="https://www.idnet-hd.co.jp">https://www.idnet-hd.co.jp</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵送物送付 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
証券コード	4709(東京証券取引所市場第一部)

## 株式会社 IDホールディングス

〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館  
I Rお問い合わせ先：コーポレート戦略部 TEL. 03-3262-5177  
<https://www.idnet-hd.co.jp> ※左記QRコードからアクセスができます。